

正福寺報

令和元年お盆号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町 3 4 0

<http://shouhukuji.com/>

真珠の涙

江戸時代に白隠禅師という禅僧がいらつしやいました。この白隠禅師に参禅をしていた方に、「おさつさん」という人がいました。あるとき、このおさつさんの孫娘が亡くなりました。その葬儀のとき、おさつさんは棺桶の前で泣きに泣いているのでした。その泣きようがあまりにもひどいので、見るに見かねて忠告する人がいました。「なあ、おさつさん。あなたはあの白隠禅師から認められた人だろ？ そんなに泣いては禅の悟りも無意味になる。もう泣きなさんな」するとおさつさんは、こう言い放ちました。「バカったれ！ 悲しいときには泣くのが当たり前だろ。わしが流しているのは、お前たちのような普通の涙ではなくて、真珠の涙を流しているのだ！」

の感情をすべて殺すことだと思っ方がいらつしやいます。しかし、どんなことでも感情を殺して、悲しいことでも涙を流さずに、うれしいことでも喜ばずに日々生活することではありません。悲しいご縁には悲しいままに、そのご縁と向き合う。うれしいご縁にはうれしいままに、そのご縁と向き合う。私たちが生きていくということとは、ご縁をいただいて生きていくということです。そのご縁には、自分にとつて良いご縁もあれば悪いご縁もあります。しかし、自分にとつて受け入れることのできないご縁でも、その一つ一つのご縁と向き合っていく。そしてそれを引きずらない、留まらない、そういう心を確認することが禅の教えなのだと思います。

泣きたい時はたくさん泣いて、うれしい時はたくさん笑って、引きずることなく、いたただくご縁と向き合っ